砥粒加工学会誌 54巻 1号 / 目次

Journal of the Japan Society for Abrasive Technology (JSAT) Vol.54 No.1 Contents

1		
年 頭 言	社団法人 砥粒加工学会 会長 奥山 繁樹	1
奨励賞	富山県工業技術センター	
こぼれ話	川堰宣隆	·····2
	砥粒加工学会の社会貢献	
	奥山繁樹	5
	新しい研究テーマの発想法におけるセレンディピティの役割	
	鈴木 清	9
特集	自動車製造業と学会活用について	
	太田 稔	
社会貢献をめざす	大田区の現状と学会活用について	
砥粒加工学会	熊倉賢一	
	工作機械業界における砥粒加工学会の役割とは	
	由井明紀	
	切削工具業界と砥粒加工学会	
	村上良彦	
編集部ハルちゃん		
が行く	株式会社 ナカニシ	
空撃インタビュー	/ 野春枝	
入手 1272-		
	単純混合型磁性研磨材を用いた磁性工作物材料の磁気研磨	
	川久保革樹 十屋和博 佐藤渾海	
	雷差ダイヤキンド研石による招き波接田マイクロ研測に関する研究	01
	第2월・研石端面によるでは自然後になり、「の前に関うるのだ」	
論文		51
	小ノンマャルハノメーン的脚によるシリコンウエハルチ作用波用切削の	
	カナ動力チッミュレーション 速水 泣 国 立次 山大寺夫	41
	信小 径, 向 立次, 山平氏辛 マ: ウェック・フィード研究はこれはその制動院密度し機械副社の影響	41
	51 リエハイノフィート研制における切削乳卵習及C機械剛性の影音	
		4 -
	回	45
	会告 (社)砥粒加工学会 第1回通常総会および	- 0
	先進テクノフェア(ATF2010)のお知らせ	
	H22 年度 砥粒加工学会 技術賞の公募について	······56
	H22 年度 砥粒加工学会 奨励賞の公募について	······ 57
会告・その他		
···· • • • •	ISAA12010	
	第 18 回 クラインティング・アカテミー	
	□ 云和 企凹安貝云 HZI 平度 弗 □ 凹薜省云開惟報古 ····································	
	「「「「」」」の「「」」の「」」の「「」」の「」」の「「」」の「」」の「」」の	
	編集後記	

Journal of the Japan Society for Abrasive Technology (JSAT)

** * <u></u>	
~ ~	
Address by President	President Shigeki OKUYAMA1
Episodes of JSAT Encouragement Award	TOYAMA INDUSTRIAL TECHNOLOGY CENTER Noritaka KAWASEGI2
Special Issue Roles of JSAT for the contributions to public benefit	Contributions to Public Benefit of JSAT 5 Shigeki OKUYAMA 5 A role of serendipity in drawing new research themes 9 Kiyoshi SUZUKI 9 Automobile manufacturers and society–utilization 13 The current industrial situation in Ota city and the society–utilization 13 Kenichi KUMAKURA 17 Roles of JSAT in the machine tool world 21 The cutting tool industry and JSAT 25
Interview	NAKANISHI INC. Harue ONO29
Papers	 Magnetic polishing for ferromagnetic materials using simply mixed magnetic abrasives Proposal of partial polishing method for R-groove and its polishing characteristics – Hideki KAWAKUBO, Kazuhiro TSUCHIYA and Unkai SATO
Information	50~64

Vol.54 No. 1 Contents

【 特 集 】 社会貢献をめざす砥粒加工学会

2008年より続くこの不況は今後数年間続くとの見方もある.このようなときこそ,社会が何を学会に求めているのか,あるいは学会がどのようにあれば社会に貢献できるかを十分に考えるよい機会でもある.

そこで、2010年の年頭において、これまでの学会活動・研究活動、あるいは企業から見た学会とは何か、またこれまでの 経験を鑑みて、学会とは企業にとってどのようなメリットがあるのかを、企業経験や共同研究の盛んな方々にご執筆をいただ いた.また、真のものづくりの中心といわれる大田区の現状や、学会が担う社会貢献とは何かを自由にご執筆いただいている. これらの内容は、各執筆者自身がどのように学会と関わるようになったかを実体験を基とした内容でご執筆いただいてい ることから、日頃会員の皆様には見えにくい学会の様子を伺い知ることができるとともに、今後より多くの会員の皆様に社会 貢献ができれば幸いである.

〔特集1〕 砥粒加工学会の社会貢献



【奥山 繁樹】(おくやま・しげき) 現職:防衛大学校 機械システム工学科長 教 授 工学博士 씞砥粒加工学会 会長 専門/業務:計測工学,切削工学,精密加工 機械 連絡先:〒239-8686 神奈川県横須賀市走水

EIII 1-10-20 TEL 046-841-3810 FAX 046-844-5900

e-mail : okuyama@nda.ac.jp

〔特集4〕 大田区の現状と学会活用について



【【 熊倉 賢一】(くまくら・けんいち)
現職:(㈱クマクラ 代表取締役会長
専門/業務:切削加工,研削加工,精密加工,
超音波加工,微細加工
連絡先:〒144-0033 東京都大田区東糀谷
4-4-20
TEL 03-3742-5465 FAX 03-3742-5466

e-mail:kkumakura@tokyo.email.ne.jp

〔特集2〕 新しい研究テーマの発想法におけるセレンディ ピティの役割

【鈴木 清】(すずき・きよし) 現職:日本工業大学 ものづくり環境学科 教 授 工学博士 専門/業務:研削加工,電気加工,塑性加工 連絡先:〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町 学園台4-1

TEL 0480-34-4111 FAX 0480-34-2941 e-mail : kiyoshi@nit.ac.jp

〔特集3〕 自動車製造業と学会活用について



【太田 稔】(おおた・みのる) 現職:京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研 究科 教授 専門/業務:研削加工,表面微細加工 連絡先:〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御 所海道町 TEL 075-724-7357 FAX 075-724-7300 e-mail:m-ota@mech.kit.ac.jp

〔特集5〕 工作機械業界における砥粒加工学会の役割 とは



【由井 明紀】(ゆい・あきのり) 現職:防衛大学校 システム工学群 機械シス テム工学科 准教授 専門/業務:工作機械,精密加工 連絡先:〒239-8686 神奈川県横須賀市走水 1-10-20 Tel 046-841-3814 (内線3420) Fax 046-844-5900

e-mail : yui@nda.ac.jp

〔特集6〕 切削工具業界と砥粒加工学会



【村上 良彦】(むらかみ・よしひこ) 現職:豊橋技術科学大学 生産システム工学系 OSGナノマイクロ加工学講座 特任准教授 専門/業務:切削加工,表面改質,熱処理 連絡先:〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲 雀ヶ丘1-1 Tel 0532-44-6616 Fax 0532-44-6690

e-mail : murakami@pse.tut.ac.jp